

平成31年第1回神奈川県議会定例会

提 出 議 案 説 明 資 料

(2 月 13 日 提 案 分)

く ら し 安 全 防 災 局

## 目 次

ページ

### 平成31年度当初予算

- 1 平成 31 年度当初予算の内容【くらし安全防災局関係】 ..... 1
- 2 平成 31 年度一般会計当初予算歳出の主な事業【くらし安全防災局関係】 ..... 2
- 3 平成 31 年度災害救助基金会計当初予算の内容【くらし安全防災局関係】 ..... 6
- 4 平成 31 年度災害救助基金会計当初予算歳出の主な事業【くらし安全防災局関係】 .... 6

### 議案（条例その他）

- 5 神奈川県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例の概要..... 7

### 平成30年度 2 月補正予算

- 6 平成 30 年度 2 月補正予算の内容【くらし安全防災局関係】 ..... 8
- 7 平成 30 年度災害救助基金会計 2 月補正予算の内容【くらし安全防災局関係】 ..... 9

# 1 平成31年度当初予算の内容【くらし安全防災局関係】

(一般会計)

(単位 千円)

内 訳 科目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳				備 考	
				特 定 財 源					一 般 財 源
				国 支 出	庫 金	県 債	そ の 他		
(款) 総務費	7,626,630	5,471,989	2,154,641	714,312	2,552,000	1,598,541	2,761,777		
(項) 安全 防災費	7,626,630	5,471,989	2,154,641	714,312	2,552,000	1,598,541	2,761,777		
小 計	7,626,630	5,471,989	2,154,641	714,312	2,552,000	1,598,541	2,761,777		
						100,869	△100,869	そ の 他 特 定 収 入	
一般会計 計	7,626,630	5,471,989	2,154,641	714,312	2,552,000	1,699,410	2,660,908		

(特別会計)

(単位 千円)

内 訳 科目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳				備 考	
				特 定 財 源					繰 越 金
				国 支 出	庫 金	県 債	そ の 他		
災害救助 基金会計	548,376	543,270	5,106	282,508	-	265,867	1		

(単位 千円)

くらし安 全防災局 計	8,175,006	6,015,259	2,159,747
-------------------	-----------	-----------	-----------

## 2 平成31年度一般会計当初予算歳出の主な事業【くらし安全防災局関係】

### 2 款 総務費 8 項 安全防災費

- ・ ビッグレスキューかながわ等実施費

18,526千円 【予算に関する説明書 80頁】

大規模災害時における国、市町村、防災関係機関等の連携強化を図るため、救急救助、医療救護活動、津波対策等の実践的訓練を行う。

### 一部 (新) 原子力災害対策事業費

290,195千円 【予算に関する説明書 80頁】

原子力関連施設における原子力災害に迅速かつ的確に対応するため、原子力防災資機材や施設の周辺地域に設置した放射線監視設備（モニタリングポスト等）の維持管理及び整備を行う。

また、原子力災害時の緊急事態応急対策拠点施設である「オフサイトセンター」の施設の強靱化を図るため、津波浸水工事の調査・設計等を行う。

- ・ 国民保護対策推進費 3,087千円 【予算に関する説明書 80頁】

危機事象の発生に備え、職員の対応力強化や情報受伝達体制の確立等、本県の危機管理体制を構築するとともに、国民保護に関する理解を深めるため、自主防災組織リーダー等への研修を行う。

- ・ 火山災害対策事業費 19,212千円 【予算に関する説明書 80頁】

県民や箱根を訪れる観光客の安全・安心を確保するため、温泉地学研究所における箱根山の火山観測・監視体制の安定的な運用や、情報発信機能の確保を図る。

また、関係機関との連携強化や県民の火山防災意識の高揚を図るため、箱根山（大涌谷）及び富士山の噴火を想定した防災訓練や、普及啓発を行う。

- ・ 防災情報システム推進費

143,376千円 【予算に関する説明書 80頁】

大規模災害時における災害応急活動を迅速かつ的確に行うため、災害情報を収集、共有する災害情報管理システム等を運用・管理する。

一部 (新)・ 防災行政通信網事業費

260,918千円 【予算に関する説明書 80頁】

大規模災害時における防災関係機関との確実な情報受伝達を確保するため、災害時にも信頼性の高い防災行政通信網の運用・管理等を行うとともに、有線・移動系無線の再整備に向けた調査・基本設計を行う。

・ 東日本大震災等避難者支援事業費

90,129千円 【予算に関する説明書 81頁】

県内避難者の安定した生活や早期帰還のため、関係団体等と連携し、避難者の状況にあわせたきめ細かな支援を行うとともに、被災者用応急仮設住宅を引き続き県が借り上げ、家賃等を負担する。

(新)・ 被災者生活再建支援基金出えん金

2,552,627千円 【予算に関する説明書 81頁】

全都道府県が相互扶助の観点から拠出している被災者生活再建支援基金について、東日本大震災や熊本地震などの被災者への支援金の支払が継続し、基金残高が減少しているため、世帯数等の一定の割合に応じ、追加拠出を行う。

・ 石油貯蔵施設周辺地域施設整備費

255,533千円 【予算に関する説明書 81頁】

石油貯蔵施設周辺地域の住民の安全確保のため、横浜市、川崎市及び横須賀市へ交付金を交付するとともに、当該地域の防災施設等を整備する。

・ 市町村地域防災力強化事業費補助

1,000,000千円 【予算に関する説明書 81頁】

地震防災戦略に掲げる死者数の半減や、消防防災力の強化などの取組みを更なる実効性をもって進めていくため、その根幹となる自助・共助の取組みや広域的対応を行う市町村に対して、強力な支援を実施する。

- ・ 石油コンビナート災害対策推進費

6,231千円 【予算に関する説明書 81頁】

石油コンビナートの災害対策を推進するため、危険物タンクのスロッシング（地震発生時に危険物タンク内の石油等が揺らされること）による被害予測システムを運用する。

- ・ 犯罪被害者等支援事業費

63,030千円 【予算に関する説明書 82頁】

犯罪被害者等の立場に立ったきめ細かな支援を行うため、「かながわ犯罪被害者サポートステーション」を運営するとともに、市町村と連携した理解促進のための普及啓発を行う。

また、性犯罪・性暴力の被害者が、必要なときに必要な支援をワンストップで受けることができるよう、ワンストップの支援センター「かならいん」の運営と医療機関とのネットワーク等の充実強化を図る。

- 一部 (新) 交通安全県民運動推進費

8,793千円 【予算に関する説明書 82頁】

県民の交通安全意識の向上と交通事故防止の徹底を図るため、県民総ぐるみの交通安全運動を推進する。

また、自転車の安全で適正な利用の促進と自転車損害賠償責任保険等の加入義務化を柱とする「神奈川県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（仮称）」の普及啓発を行う。

- ・ 地域防犯力強化支援事業費

46,000千円 【予算に関する説明書 82頁】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた安全・安心な神奈川づくりのため、市町村等が行う防犯カメラの設置を支援する。

- ・ 消費者行政推進事業費

282,792千円 【予算に関する説明書 82頁】

消費者の安全で安心な消費生活を実現するため、市町村の相談業務等の事業を支援するとともに、高齢者及び成年年齢引下げに対応した若年者等の消費者被害未然防止対策やエシカル消費の推進など消費者市民社会への参画を促すための取組みを実施する。

- ・ 消防学校事業費 17,028千円 【予算に関する説明書 83頁】

県内消防の災害対応力の向上を図るため、機能強化した消防学校の訓練施設等において、消防職団員等の基礎的、専門的教育を実施するとともに、実践的訓練を行う。

- ・ 総合防災センター機能強化事業費

8,568千円 【予算に関する説明書 83頁】

自助・共助の取組みを一層強化するため、防災情報・体験フロアの学習機器の更新を行う。

また、災害時の災害活動中央基地としての受援機能強化のため、備蓄資機材の充実を図る。

3 平成31年度災害救助基金会計当初予算の内容【くらし安全防災局関係】

(1) 総括

(歳入) (単位 千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
1 災害救助基金	548,376	543,270	5,106

(歳出) (単位 千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	本年度予算額の財源内訳			
				特定財源			繰越金
				国庫支出金	県債	その他	
1 災害救助費	548,376	543,270	5,106	282,508	-	265,867	1

(2) 歳入の主な内訳

(単位 千円)

目名	本年度予算額	前年度予算額	比較	説明
国庫負担金	282,508	280,144	2,364	
基金繰入金	258,528	256,165	2,363	

(3) 歳出の主な内訳

(単位 千円)

目名	本年度予算額	前年度予算額	比較	説明
救助費	541,039	536,312	4,727	災害救助法適用救助費 541,039
積立金	7,337	6,958	379	

4 平成31年度災害救助基金会計当初予算歳出の主な事業

【くらし安全防災局関係】

1 款 災害救助費 1 項 救助費

- ・ 災害救助法適用救助費

541,039千円【予算に関する説明書 253頁】

災害救助法が適用される災害が発生した場合に、被災者の救出、医療の提供及び生活必需品の給与又は貸与など、法に定められた必要な救助を実施する。



5 神奈川県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例の概要

(1) 制定の趣旨

県内における自転車対歩行者の交通事故の増加や重大事故の発生、全国での自転車事故加害者への高額賠償事例などから、自転車の安全で適正な利用の促進と自転車損害賠償責任保険等の加入義務化を柱とした条例を制定するものである。

(2) 制定の内容

ア 自転車の安全で適正な利用の促進のための取組

(ア) 県、県民、自転車利用者等の責務や取組について規定する。

(イ) 学校、家庭等における交通安全教育について規定する。

イ 自転車損害賠償責任保険等の加入義務化

自転車利用者、保護者、自転車を利用する事業者、自転車貸付業者に自転車損害賠償責任保険等の加入を義務付けるとともに、自転車小売店や学校における加入の確認、情報提供等について規定する。

(3) 施行期日

平成31年4月1日

ただし、自転車損害賠償責任保険等の加入や加入の確認については平成31年10月1日とする。

## 6 平成30年度2月補正予算の内容【くらし安全防災局関係】

(一般会計)

(単位 千円)

内 訳 科目	補 正 の 前 額	補 正 額	計	補正予算額の財源内訳				備 考	
				特 定 財 源					
				国 支 出	庫 金	県 債	そ の 他		一 般 財 源
(款) 総務費	5,478,556	△198,034	5,280,522	△208,619			279,431	△268,846	
(項) 安全 防災費	5,478,556	△198,034	5,280,522	△208,619		-	279,431	△268,846	
小 計	5,478,556	△198,034	5,280,522	△208,619		-	279,431	△268,846	
							15,768	△15,768	そ の 他 特 定 収 入
一般会計 計	5,478,556	△198,034	5,280,522	△208,619		-	295,199	△284,614	

(特別会計)

(単位 千円)

内 訳 科目	補 正 の 前 額	補 正 額	計	補正予算額の財源内訳					備 考
				特 定 財 源					
				国 支 出	庫 金	県 債	そ の 他	繰 越 金	
災害救助 基金会計	543,270	△5,958	537,312	-	-	△5,958	-		

(単位 千円)

くらし安 全防災局 計	6,021,826	△203,992	5,817,834
-------------------	-----------	----------	-----------

【予算に関する説明書（平成30年度）121～123頁】

7 平成30年度災害救助基金会計2月補正予算の内容

【くらし安全防災局関係】

(1) 総括

(歳入)

(単位 千円)

款	補正前の額	補正額	計
1 災害救助基金	543,270	△5,958	537,312

(歳出)

(単位 千円)

款	補正前の額	補正額	計	補正予算額の財源内訳			
				特定財源			繰越金
				国庫支出金	県債	その他	
1 災害救助費	543,270	△5,958	537,312	-	-	△5,958	-

(2) 歳入の主な内訳

(単位 千円)

目名	補正前の額	補正額	計	説明
財産運用収入	6,958	△5,958	1,000	

(3) 歳出の主な内訳

(単位 千円)

目名	補正前の額	補正額	計	説明
積立金	6,958	△5,958	1,000	